

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成24年3月29日 (2012.3.29)

【公表番号】特表2011-514814(P2011-514814A)  
 【公表日】平成23年5月12日 (2011.5.12)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-019  
 【出願番号】特願2010-546337(P2010-546337)  
 【国際特許分類】

A 6 1 N 1/44 (2006.01)

H 0 5 H 1/24 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 N 1/44

H 0 5 H 1/24

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月9日 (2012.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細胞の電気穿孔を同時に行うとともに、プラズマにより生体細胞を治療する装置であって、電気穿孔用の従来型のデバイスに加えて、プラズマ発生用のデバイスを含むことを特徴とする、前記装置。

【請求項 2】

前記プラズマが、大気圧プラズマ、特に、低温又は非熱的な大気圧プラズマであることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

少なくとも 1 つのプラズマ源電極と、少なくとも 1 つの電気穿孔電極と、ガス供給部と、少なくとも 1 つの電源とを含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 4】

ガスノズルと、少なくとも 1 つの誘電体と、絶縁材と、少なくとも 1 つの高電圧電極とを更に含むことを特徴とする、請求項 3 に記載の装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

3 . 殺菌、汚染除去、医療工学生成品調製 (Aufbereitung medizintechnischer Produkte) の問題

医療技術製品の数が増加しているが、熱殺菌、化学殺菌、紫外線殺菌、及びガンマ線殺菌の公知の標準的方法は、材料技術的理由、構造上の理由、並びに、環境及び健康上の理由から、これ以上採用することはできない。従って、材料を損なわずに効果的に抗菌性の治療を行う方法の開発は、ますます重要である。この問題解決に興味深い可能性を提供するのは、プラズマ工学的方法である。多数の公刊物および特許公報に記載されているように、この種の解決法のため、世界中で集中的に作業が行われている。

